

安心・安全で住みたくなる大牟田を目指して



公明党議員団
平山 伸二 議員

市政運営の6年間の総括と 目指す政策と都市像

問 関市長の6年間の総括と、今後目指す政策、都市像は。

答 就任から振り返ると、令和2年7月豪雨災害や新型コロナウイルス感染症対策、昨今のエネルギー・食料品等物価への対応など続いた中、スピード感を持ち、公約に掲げる未来を見据えた三つのまちづくりと二つの約束の実現に向けた取組を進めてきた。

今後も第7次総合計画に掲げる都市像、元気あふれる安心快適な未来価値創造都市おおむた～有明海沿岸地域リーディングシティ～の実現に向け取り組む。

再発言 定住人口を増やすためにも、住みたくなるまちづくりを目指されたい。

重点支援地方交付金拡充による生活者支援・事業者支援

問 重点支援地方交付金での生活者支援・事業者支援について、市長の思いを聞きたい。

答 これまで低所得者の方に対する支援給付金、保育費や学校給食費の負担軽減、地域の消費喚起のための、大牟

田プレミアム商品券発行支援に取り組んできた。今後は国会審議を注視し、市民・事業者支援をできるよう様々な観点から速やかに検討を進める。

新庁舎整備における 市民理解

問 今後の新市庁舎整備について、市の方針と進め方などを聞きたい。

答 今後、総合体育館整備の事例も参考にしながら、設計内容に利用される市民の声を反映できるよう意見聴取を行い、新庁舎の姿を具体化していく。併せて、基本構想審議会の答申における附帯意見も、今後の基本計画策定の中で検討していきたい。

なお、進捗により、新庁舎の概要や事業費の見通しがまとまった段階で市議会への報告とともに、説明会の開催も含め、広く市民に周知し、御意見を伺う取組を進めたい。

防災対策（地震）について

問 木造戸建て住宅耐震改修促進事業の本市の現状や課題について聞きたい。

答 昭和56年5月31日以前に着工された旧耐震基準の木造戸建て住宅を対象に、耐震診断の結果、倒壊のおそれがあると判定された住宅に対し、改修工事費の補助をしている。

所有者の皆様に、できる限り耐震診断を受けていただき、耐震性が不足している場合は速やかに耐震改修を行ってい

ただくよう、周知していく必要があると考える。

防災対策（空き家対策）について

問 空き家対策の取組状況と課題について聞きたい。

答 令和5年度の調査では、総数3,085件存在している状況を踏まえ、第3次空き地及び空家等対策計画にて5分野10項目の施策と四つの重点施策を取り組んでいる。

近年、相続放棄で所有者不明、管理されていない空き家への対応も必要となっている。

問 消防本部の空き家に関する火災予防の取組を聞きたい。

答 火災予防条例に基づき、都市整備部と連携し、所有者へ火災予防上必要な措置を講じるよう適宜指導している。今後も指導に取り組みたい。

市民の健康維持対策について (帯状疱疹ワクチン)

問 65歳以上の方が今年度から定期接種の対象になったが、本市における接種状況は。

答 9,114人の対象者のうち、1,305人と、14.3%の方が接種している。

再発言 50歳から接種費補助をしている自治体もあるので、本市もぜひ検討してほしい。

